

協働事業報告書

【事業名】	鎌倉市冒険遊び場協働運営事業		
市担当課	鎌倉市こども支援課（令和8年度～ こどもみらい課）		
団体名	NPO 法人かまくら冒険遊び場やまもり		
事業実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
事業費	10,157,240 円	負担金額	10,157,240 円
事業目的	子どもたちが自由に生き生きと遊ぶことのできる遊び場の提供及び自然遊びの情報発信を行うことのほか、子育てに関する情報提供や、子育て中の親子に対する支援を地域団体等と協働で実施することにより、地域の交流や多世代交流の活性化を図ることを目的としている。 【達成できた点】 ・遊び場・寺分の新設開所による地域の居場所の増加に貢献した。 ・出張冒険遊び場を小学校で開催。より深い地域とのつながりや、小学生への認知拡大につながった。 ・市の公式 LINE、やまもりの SNS、HP で積極的に普段の遊びの様子や出張冒険遊び場の告知や報告を発信することができた。 【達成できなかった点】 ・おやこサロンの参加者数が減少傾向にあり、プログラム内容の見直しや参加促進策が十分でなかった。 ・開館時間により、中学生・高校生の放課後の居場所としての機能は果たせなかった。		
事業の成果目標 (数値目標)	・施設利用者数 7000 人 ・子育てイベント・地域イベントの実施 ・出張冒険遊び場の年 10 回開催 【実績】 ・施設利用者数 8,238 人 ・子育てイベント参加人数 255 人 ・地域イベント参加人数 315 人 ・出張冒険遊び場開催回数及び参加人数 10 回 1,044 人 ・出張冒険遊び場・寺分参加人数 302 人		
事業概要	平成 16 年度から市内各所で「かまくら子育て支援グループ懇談会」と協働で実施してきた「一日冒険遊び場」を、同団体を母体として設立された「NPO 法人かまくら冒険遊び場やまもり」との協働事業により、「かまくら冒険遊び場・梶原」として常設化。令和元年 11 月 15 日より運営を開始した。運営日は火水金土曜日 10 時から 17 時まで（年末年始、国民の祝日は除く）夏休み期間中は木曜日も開所。令和 6 年度から月 1 回の日曜日開所を開始、令和 7 年度からは寺分町内会館で定期的な出張冒険遊び場を開催。		
事業実施の実績	【実績】 ○市の役割 事業場所の提供、負担金の支出、施設の維持管理に関する事項、施設管理者としての利用者の安全確保及び協働事業者への安全指導。 ○市民活動団体の役割 1. 冒険遊び場事業 ・冒険遊び場・梶原の運営 旧梶原子ども会館、隣接の斜面を利用し、こどもや子育て親子の遊び場を運営。 ・出張型冒険遊び場の開催 ・「遊び場・寺分」の開催。 ・研修及び講習の受講 2. 子育て支援事業		

- ・情報提供
 - ・イベント開催
3. 地域交流事業
- ・夏まつり、冬まつりの開催
 - ・事業報告会の開催

○具体的に行ったこと・時期

1. 冒険遊び場事業

●冒険遊び場・梶原の運営

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日。215 日開所。

火、水、金、土曜日の 10～17 時開館（月に一度の日曜日の開館、夏休み期間中は木曜日も開館）

●出張型冒険遊び場を 10 回開催。

鎌倉海浜公園（2025 年 4/20（日））、さくら青少年広場（2025 年 5/14（水））鎌倉青少年会館（2025 年 6/22（日））、たまなわ児童遊園（2025 年 9/10（水））、岩瀬下関防災公園（2025 年 1 月 5 日）、七里が浜小学校（2025 年 10/8（水））、深沢小学校（11/15（土））、広町緑地（12/7（日））、岩瀬下関防災公園（1/17（土））、鎌倉中央公園 2/23（月・祝）、台峰緑地（3/1（日））において開催。

●「出張冒険遊び場・寺分」の開催。【新規取り組み】

5 月より寺分町内会館 2 階ホールで開催。18 回、302 人（未就学児 94、小学生 72 大人 129 人）が利用。

かねてより声があがっていた乳幼児おやこ向けの居場所を提供することができた。

●研修 スタッフのスキル向上を目的とし、下記研修及び講習を受講した。

放課後児童支援員認定資格研修、防災訓練、防犯訓練、救命救急講座、支援課とともに子ども夢パークを視察、こども発達障がい支援実務士講座、ASL の資格研修

2. 子育て支援事業

●情報提供：

・メディアスポットを通して HP へのイベント告知、各支援センターへチラシの配架をし、イベント等の情報を提供する。

・公式 LINE でのイベント情報の配信を毎月行う。

・HP のリニューアルを行い、より情報を取得しやすい導線を確認。

・遊び場・梶原にて子育てに関する情報提供を行う。

●イベント開催

・月に 4 回程度未就学児親子向けのイベントを実施（季節を感じられる遊び、おやこで楽しめる工作、おやこヨガ、フォト入りカレンダー作成など）

※今年度より大人だけの参加も受け入れ可能とした。

・「日曜おとなの山部」の開催。毎月一度の日曜日開館に合わせて、遊び場の山の整備をスタッフと一緒にを行う企画。利用者とともに遊び場をつくっていく仕組みを整える。

・子どもの権利周知イベント（座談会）の開催

・不登校児支援として、＃学校ムリでもここあるよ キャンペーンに参加。居場所として梶原の冒険遊び場を登録。居場所の周知を行った。

●その他 重層的支援体制整備事業の取り組みの一環として

・不登校支援の取り組み：＃学校ムリでもここあるよ キャンペーンに参加。「街のとまり木」に登録し、居場所としての周知につながっている。

・フリースクール運営協議会に参加。

ヤングケアラー支援：イベントを開催し、大人がつながり子どもの支援につながる取り組みができた。

・子ども家庭庁による、こどもまんなかアクション事例集に掲載し、市との協働の取り組みを告知できた。

3. 地域交流事業：

・夏まつりの開催（2025 年 7 月 5 日、6 日）

・冬まつりの開催（2025 年 12 月 6 日、7 日）

・事業報告会の開催（2026 年 3 月 7 日）

地域の方々との連携：梶原山町内会、深沢支援センター、深沢地区民生委員との連携、イベントへのご参加、イベントの広報、事業報告会へご参加いただいた。また、今年度は放課後デイサービスのおさんぽ先としても利用していただいた。